

事業計画書

事業名	サロン かのがわ
場所	沼津市上土町3 地内
実施予定期間	平成28年7月1日～平成28年11月30日
日程	実施項目・作業項目
	<p><実施内容></p> <p>セルフ健診 : 「気軽に希望に応じて」を目的とし、地域の予防医療の役割を果たす</p> <p>高齢者向け娯楽施設 : 昭和の風景をモチーフに、当時の遊戯機器を設置し、外出機会の増進を図る</p> <p>多目的交流スペース : さまざまなイベントや催しを開催し地域交流機会を作る。</p> <p><人員配置></p> <p>1階責任者 : 常勤 1名</p> <p>健診スペース : 看護師 1名 ・ スタッフ1名</p> <p>娯楽スペース : スタッフ1名 計 4名</p> <p>その他イベントや催し開催時 随時人員配置(医師・相談員など)</p> <p><行事予定></p> <p>1. ①医師による健康相談 ②相談員による介護相談 ③栄養士による栄養相談 ④療法士によるリハビリ指導 を日替わりで開催</p> <p>2. 音楽教室やミニコンサート、趣味教室やヨガ教室・リハビリ麻雀の開催</p> <p>3. 送迎付きのセルフ健診(自治体などと協力実施)</p> <p>4. 商店街や公共施設等での出張セルフ健診</p> <p><事業開設計画></p> <p>別紙添付書類参照</p>
事業効果	<p>「機会がない」「時間がかかる」「お金がかかる」などの理由から、過去1年以上健康診断を受けていない「健診弱者」と言われる方々は非常に多く、そう言った方々へ少しでも自身の健康管理に役立てる場を作り、病気の早期発見に繋げ医療の重症化の防止効果が望める。また加齢に伴い身体機能低下や独居生活などから外出できない高齢者や、他者と交流する場がなく閉じこもり状態の高齢者に対して、昔を思い出せる場や交流の場ができることで、外出の機会の増加が望め、身体機能低下の防止や自立した生活を送れる状態を保つための施設が必要と考えます。</p>

<p>公益性</p>	<p>多くの市民が活用することで市内中心部に活気がもどり、まちづくり活動の活性化が図れる事業と考えます。施設利用することで心身ともに元気な状態を維持し、介護予防効果が期待でき、介護認定者の増加を抑えることができます。また健診が身近になる事で、病気の早期発見にも繋がり市民の健康維持にも繋がると思います。</p>
<p>発展性</p>	<p>全国的に高齢化が高まると共に介護認定者も増加しています。沼津市も同様に高齢化が進み、介護認定者の数が増え介護度が上がりつつあります。地域に高齢者サロンや交流センターはありますが、懐かしい遊戯機器などを設置し娯楽要素も高く、また健診も行える施設としては特異性のある施設と思われます。市街地に心身ともに健康になれる施設として、幅広く様々な方々の利用も見込めると思われます。</p>
<p>地域性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設が市内中心部にあり、商店街や駅にも近く利便性が良いことから、近隣のみならず沼津市全域住民が利用可能な場所にあります。 ・駅周辺は高齢者人口も多く、また狩野川のほとりでもあり、散歩に来られた方などが、気軽に生活相談に対応でき、サブセンター的な役割を担う事ができます。 ・千本地域包括支援センターをはじめ、各包括・病院等と連携を図り、生活等に支障がある方々を早い段階で必要な資源につなげられます。
<p>必要性</p>	<p>身体機能低下から外出できない高齢者や、他者と交流する場がなく閉じこもり状態の高齢者に対して利用できる施設が少ない為、介護保険サービス以外で送迎サービス・リハビリ・高齢者が楽しめる催しや交流の場を提供し、身体機能低下の防止や自立した生活を送れる状態を保つための施設が必要と考えます。</p>
<p>先導性</p>	<p>セルフ健診による健康管理のみならず、昭和の遊び場（懐かしいゲーム機設置）の併設や多目的スペースでの様々な催しなども行え、心身ともに元気になれる施設としては、周辺においても類を見ない施設と思います。また、施設利用者の中から運動指導員や交流設営ボランティアを育成し、沼津市に交流施設を増やす事に繋がると思います。</p>
<p>継続性</p>	<p>施設運営は医療法人が担う事で、医療介護事業以外に予防事業として新たに運営していくつもりです。通常事業に加え、医師や看護師、栄養士などによる相談会なども行い、医療・介護・健康の情報発信基地としての要素も含み、また近隣の施設や企業・商店街や自治会等とのコラボレーションを図り、利用者の増加を図り利用収入の確保に努めます。</p>